

～洛西からの一読～

今回のテーマは「個性あふれる登場人物たち」

お話のなかの登場人物はそれぞれに個性を持っています。自由で優しい心を持っていたり、ずるがしこかったり。たとえそれがゴリラでも、たとえそれがトランプのジョーカーでも…。

サリー・ジョーンズの伝説 あるゴリラの数奇な運命

ヤコブ・ヴェゲリウス／作 オスターグレン晴子／訳 福音館書店



ある嵐の夜、アフリカの熱帯雨林の奥深くでゴリラの女の子が生まれた。月も見えず星ひとつ瞬かない真っ暗な夜に生まれたその子は数々の不幸にみまわれるだろうと、群れの長老は予言した。その子はしばらくジャングルで幸せに暮らしていたが、ある朝予言は的中した。突然密猟者に捕獲され母親と故郷をうばわれる。

ゴリラの女の子を競りで手に入れたトルコの象牙商人アリは、関税を払いたくないという理由から、ゴリラの女の子に人間の格好をさせて、サリー・ジョーンズという名の偽造パスポートを与える。このときからサリー・ジョーンズはゴリラでありながら人間のような大きな存在感をもって、読み手の私たちの心に力強く入りこんでくる。

欲望を満たす手段としか見ていない人間たちによってサリーは数々の不幸にみまわれる。それでも、あるがままの運命を受け入れ生きていくサリー。あまりの不幸に目をそらしたくなるが、最後まで望みを捨てず読んでほしい。数奇な運命をたどったサリー・ジョーンズの魂が真の故郷にたどりつくまで。

ぬけだしたジョーカー

こわせ たまみ／作 武井 武雄／絵 フレーベル館



ある晩トランプで遊んだけんちゃんは、ジョーカーのカードを一枚だけしまうのを忘れて眠ってしまいました。すると、真夜中にトランプからジョーカーがぬけだし、一輪車に乗ったまま外へ出て行ってしまいました。サーカス団長に自分のサーカスのピエロだと思われ、次の日からピエロとして働くことになったジョーカー。

そんなある日、つばめたちが飛んできてサーカスの仲間のぞうのこどもプリンと何か話しをしていました。それからのプリンは毎日元気がなく、心配したジョーカーは事情を聞きます。プリンのお母さんが病気だったのです。お母さんに会いに行きたくても、行かせてもらえないプリンのためにジョーカーは団長にある提案をします。

武井武雄が描いた絵本の世界を満喫してください。トランプから色のある世界にぬけだしてきたジョーカーを、最後までモノクロームで描くユーモアが、おはなしの中で繰り広げられる夢と現実を絶妙に表現しています。

ジョーカーのひとつひとつの表情も動きがあって、とても楽しい作品に仕上がっています。